

平成31年度
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
01	07	01	03	174340	観光情報発信事業費	
総合計画	分野	01	しごと	政策	04 観光の振興	
	施策	02	観光情報の発信			
目的	より多くの人に花巻の魅力を知ってもらうため、観光情報の発信を行う。					
対象	観光客、旅行会社					
意図	花巻の魅力を知ることができる					
事業概要	観光情報の発信 29,302千円 旅行博や観光キャンペーン等の観光誘客と、ポスター・パンフ・HP等を利用した観光宣伝に対する支援 関係団体負担金 2,884千円 いわて観光キャンペーン推進協議会、岩手県観光協会ほか、関係機関への負担金 宿泊施設利用促進への支援 6,000千円 イーハトープ大使によるPR 220千円 イーハトープ大使が行う観光宣伝のための名刺作成と地場製品の紹介 観光パンフレット、ポスター等の作製 11,382千円 体験型観光推進事業補助金 390千円 映像作品ロケ誘致 901千円 映画、CM等のロケを誘致					
市民参画の有無						
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託
活動指標		単位	区分	H30	H31	R02
1	観光キャンペーン実施回数	回	計画	11.00	11.00	
			実績	9.00	14.00	
2			計画			
			実績			
3			計画			
			実績			
成果指標		単位	区分	H30	H31	R02
1	観光協会ホームページのアクセス件数	万件	目標	50.00	50.20	
			実績	43.90	95.80	
2			目標			
			実績			
3			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
内容充実を図るため、市の支援により平成29年10月に観光協会のHPの改修を行ったが、URLが変更となったことから他の関連サイトに貼られていたURLがリンク切れをおこし、アクセスが減少。しかしリンクが再び貼られたHPが増えてきたこと、令和元年度から花巻観光協会にHPの管理運営を専門的に行う職員が配置されたことなどから、アクセス件数が大幅に増回した。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	多くの人に花巻の魅力を知ってもらうための観光情報発信は、市として主体的に取り組む必要がある。
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	観光キャンペーンにおける1回当たりの効果を上げる。
	向上余地がある	ノベルティ等の配布において「目立つ」「印象に残る」工夫が必要である。
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	東日本大震災による観光客の減少を回復させるため、所要の取り組みが必要である。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	観光振興は市全体が受益となる。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	観光キャンペーン実施回数も計画を上回り、市内外で当市の観光コンテンツを広く情報発信した。このことも観光協会HPのアクセス件数の大幅な増加の一因となったと考えられる。
	次年度に向けて	今後も誘客促進を目的として、当市の豊富な観光資源をさまざまな手段・機会において情報発信を行っていく。

平成31年度

事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
01	07	01	03	174400	外国人観光客誘致促進事業費	
総合計画	分野	01	しごと	政策	04 観光の振興	
	施策	02	観光情報の発信			
目的	訪日外国人観光客を誘致するため、海外に向けたプロモーション及び受入態勢を整備する。					
対象	外国人観光客					
意図	交流人口の拡大による経済効果					
事業概要	関係団体（事業）負担金 404千円 関係団体への負担金支出 外国人観光客誘致促進事業 4,000千円 (一社)花巻観光協会が実施する海外プロモーションへの事業支援 商談会への参加 307千円 国内外で開催される外国人観光客誘致商談会への参加 広域での外国人観光客誘致 4,413千円 遠野市・奥州市・平泉町と連携した広域的な外国人観光客誘致の実施 公共施設等の外国人観光客受入環境整備 532千円 公共施設へのキャッシュレス決済環境導入及び音声翻訳機の配備					
市民参加の有無						
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託
活動指標		単位	区分	H30	H31	R02
1	国内外で開催される商談会への参加回数	回	計画	9.00	9.00	
			実績	9.00	7.00	
2			計画			
			実績			
3			計画			
			実績			
成果指標		単位	区分	H30	H31	R02
1	訪日外国人観光客入込数（暦年）	万人	目標	4.40	5.20	
			実績	5.00	6.10	
2			目標			
			実績			
3			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
平成30年8月の花巻-台北線、平成31年1月の花巻-上海線の定期便就航により、アジア地域からのインバウンドが増加しており、さらには令和元年9月に釜石市でラグビーW杯が開催されたことを追い風に、インバウンドの入込が増加したものの。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	国内人口減少に伴う国内観光客の減少は避けられないことから、当事業に取り組むことは妥当である。
	妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	観光関係事業者とのネットワーク構築や情報収集を進めることにより、効果的な事業展開が期待できる。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	様々な商談会等への参加や各種メディアを活用した情報発信が欠かせない上、相手国の状況に応じた対応が必要となるため、現状での削減余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	どちらも削減余地がない	
	受益と負担の適正化余地	観光振興は市全体が受益者となる。
	受益機会の見直し余地がある	
費用負担の見直し余地がある		
総合評価	今年度の振り返り	訪日外国人観光客の誘客のため、関係機関・団体と連携して活動を実施し、前述のとおり花巻発着の国際定期便の就航もあり前年比約2割増の入込があった。今後もFIT(海外個人旅行者)向けにコンテンツの創出や磨き上げ、さまざまなチャネルを用いた情報発信によりインバウンド誘客促進に努める。
	次年度に向けて	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、インバウンドの入込が激減していることから、当面は感染状況をにらみながら受入環境の整備を行う。